



ケヤキ並木通信



発行：横浜市都筑土木事務所 2022. 11

高木（ヤマボウシ）、低木（ヒラドツツジ）の配置について

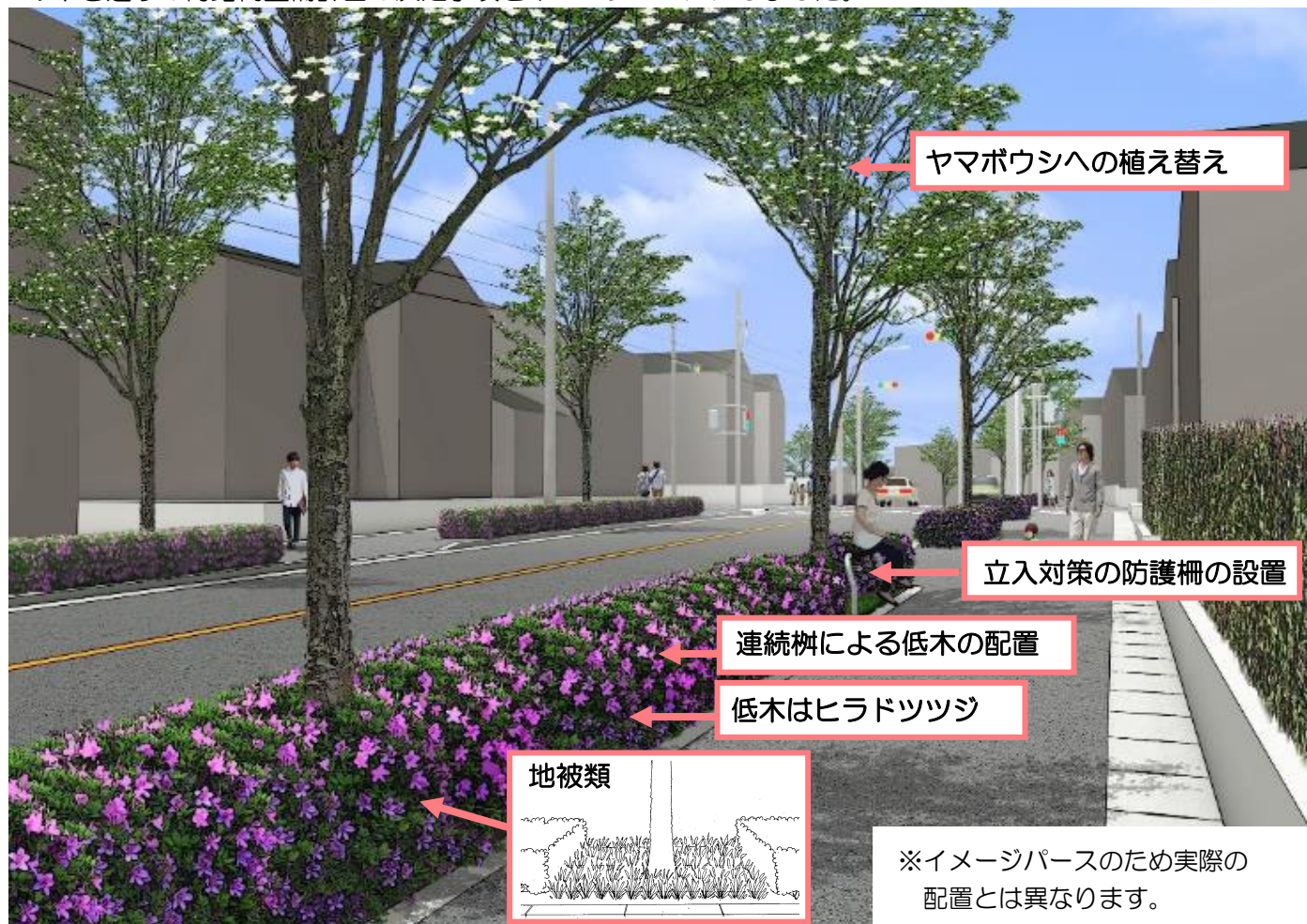
「ケヤキ並木通信第6号」（令和3年3月発行）でお知らせしました、けやき通りの街路樹再整備計画に基づき、乗入部設置箇所や植栽樹の配置について現地を精査しました。

通信第6号では、高木の設置本数を53本としていましたが、電柱等の位置関係や、車両乗入部について沿道住民の方々の御希望を踏まえて見直した結果、高木は42本（予定）となります。

本数が減少することとなりましたが、御理解いただきますよう、よろしくお願いいたします。

1. 街路樹再整備計画の決定事項

けやき通りの街路樹整備計画の決定事項をイメージパースにしました。



2. ヤマボウシの維持管理について

剪定：3年から5年にかけて、高木の成長に合わせて剪定。

宅地に越境している場合は、越境枝の剪定。

樹高：約7mを目標高とする。

枯木：御要望をいただき、順次補植を行います。

建築限界（高さ）※：歩道 2.5m、車道 4.5mの通行空間の確保。

※建築限界とは、道路上で車両や歩行者が交通の安全を確保するための空間です。

3. 植栽帯について

【低木樹種：ヒラドツツジ】

草刈を2回/年（5月～8月）、（10月～12月）刈込を1回/年（5月～8月）を行います。

それ以外でも状況に応じて草刈等を実施します。

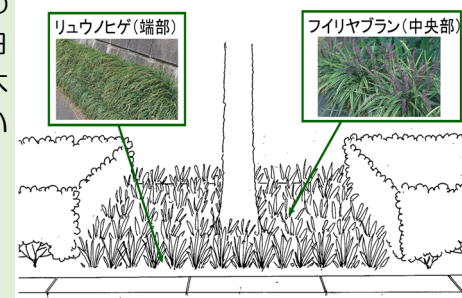
高さ：60cm

葉張り：植栽帯の幅(1m)



【地被類種類：リュウノヒゲ、フィリヤブラン】

連続樹内（植栽帯）の配置の工夫として、日光の入りにくい高木の根元は、日陰に強い地被類を植えます。



【立入対策の防護柵の設置】

植栽帯への立入対策の防護柵を設置します。

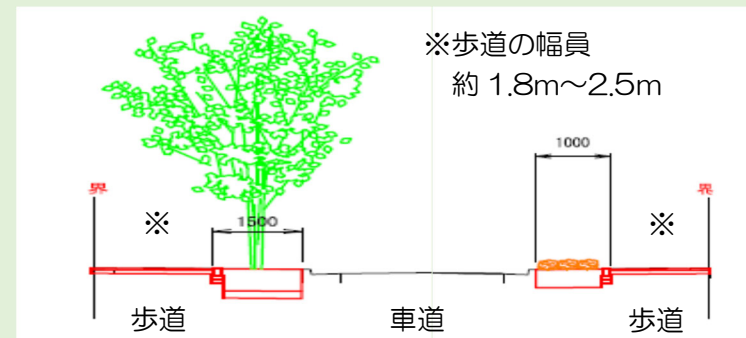
設置する場所、高さなどの詳細については、地域の方と調整し決定します。



【植栽帯の幅員、歩道の幅員】

植栽帯の幅員：高木（1.5m）、低木（1.0m）歩道の幅員をできるだけ広く確保できるように植栽帯の幅員を設定しました。

※低木はヒラドツツジとしますが、工事開始前に地域からの要望があれば、花色の変更やハマロードサポーターなど地域の協力による部分的なアレンジも可能です。



【ゴミ置き場の取扱いについて】

植栽帯の配置計画図を、資源循環局に情報を提供します。

【歩道の自転車通行について】

けやき通りの歩道については、警察（公安委員会）が自転車通行可の交通規制をかけています。

4. ハマロードサポーターについて

・活動内容

清掃や美化活動等について、参加団体が自主的に企画していただきます。

プランターの設置・管理や花壇の設置・管理等

・横浜市からの支援

清掃用具、ごみの処分、物品等(消耗品、苗)の提供等



●説明会の実施について

以下の日程で説明会を実施します、ぜひ、ご参加ください。

■案内図

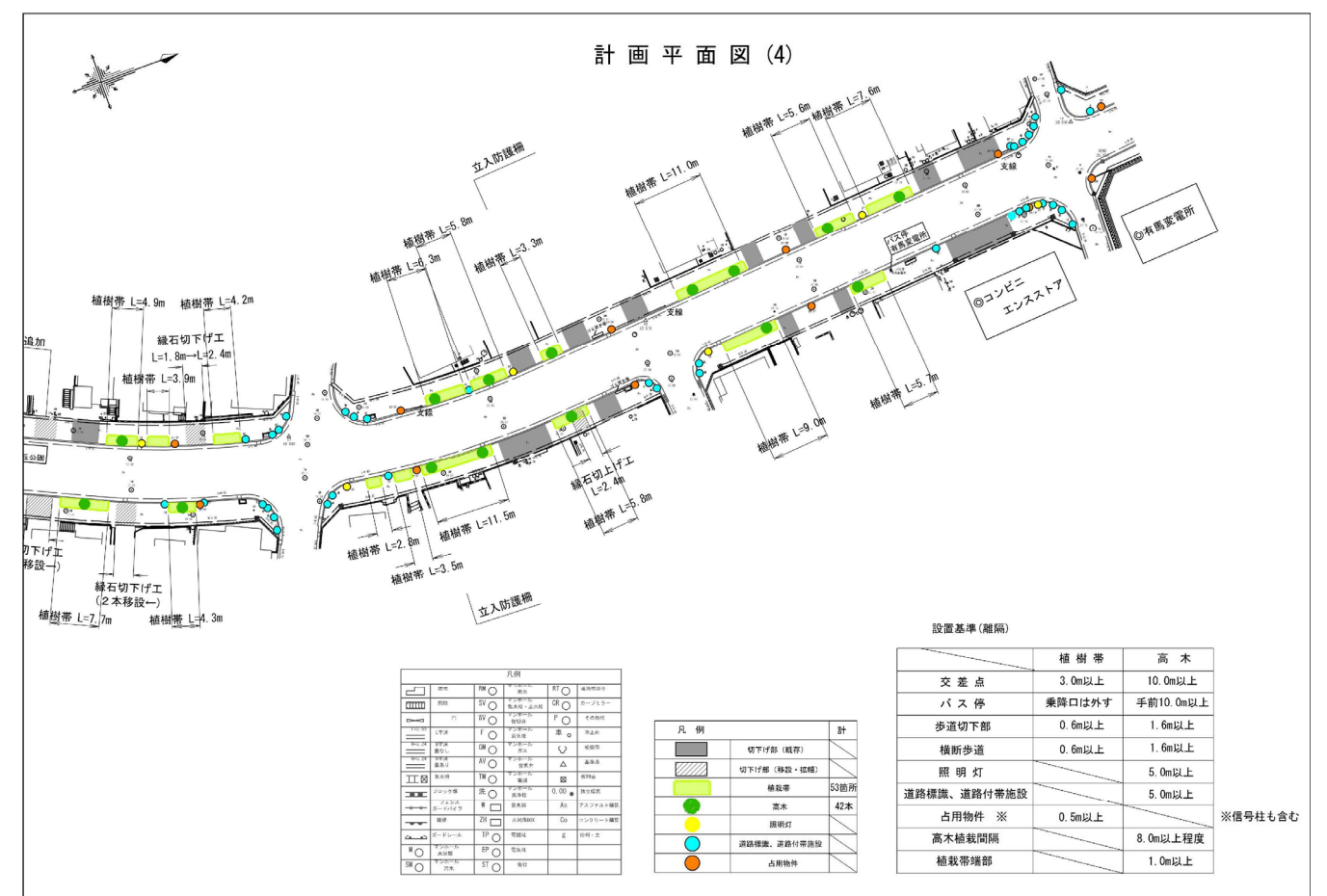
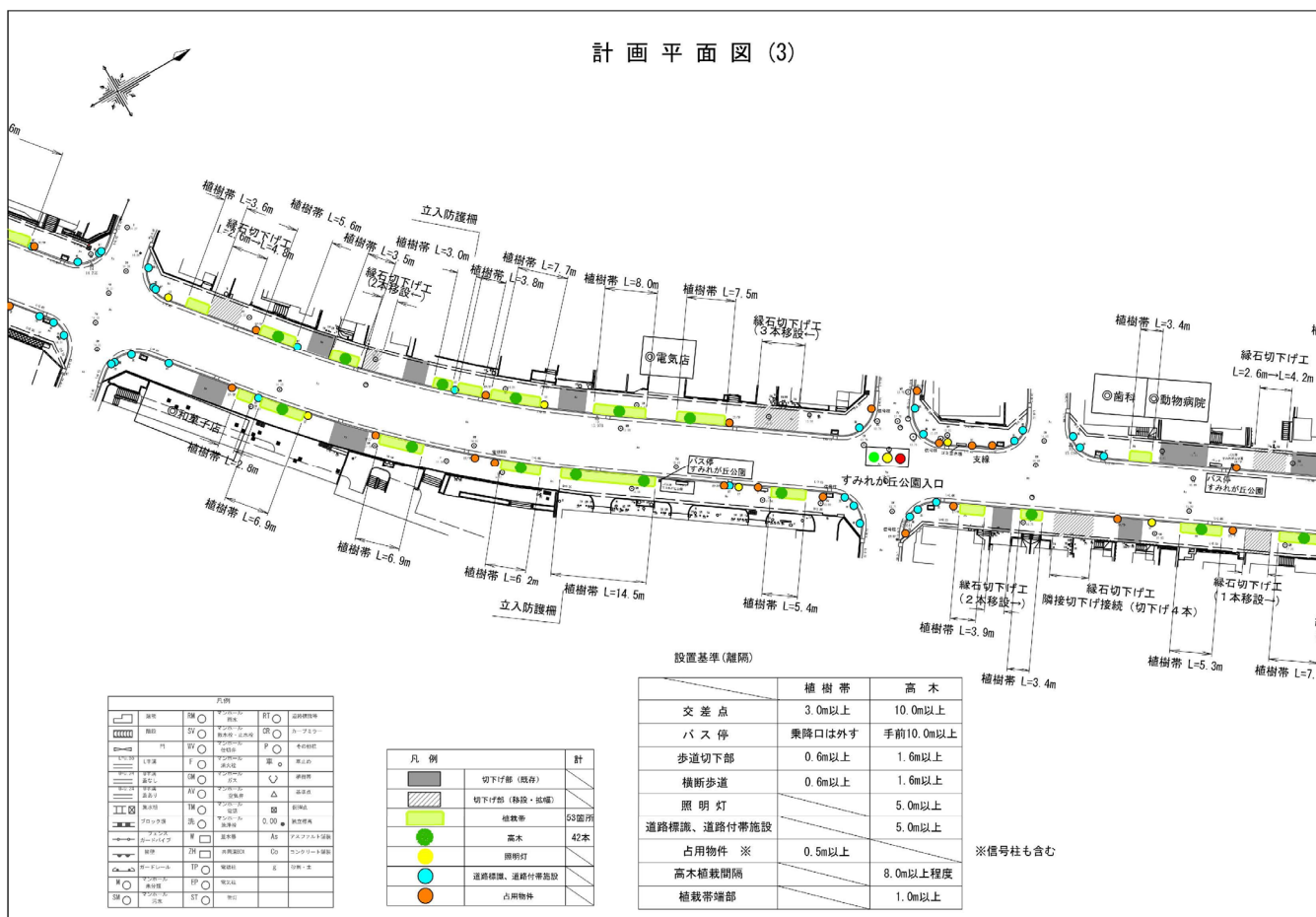
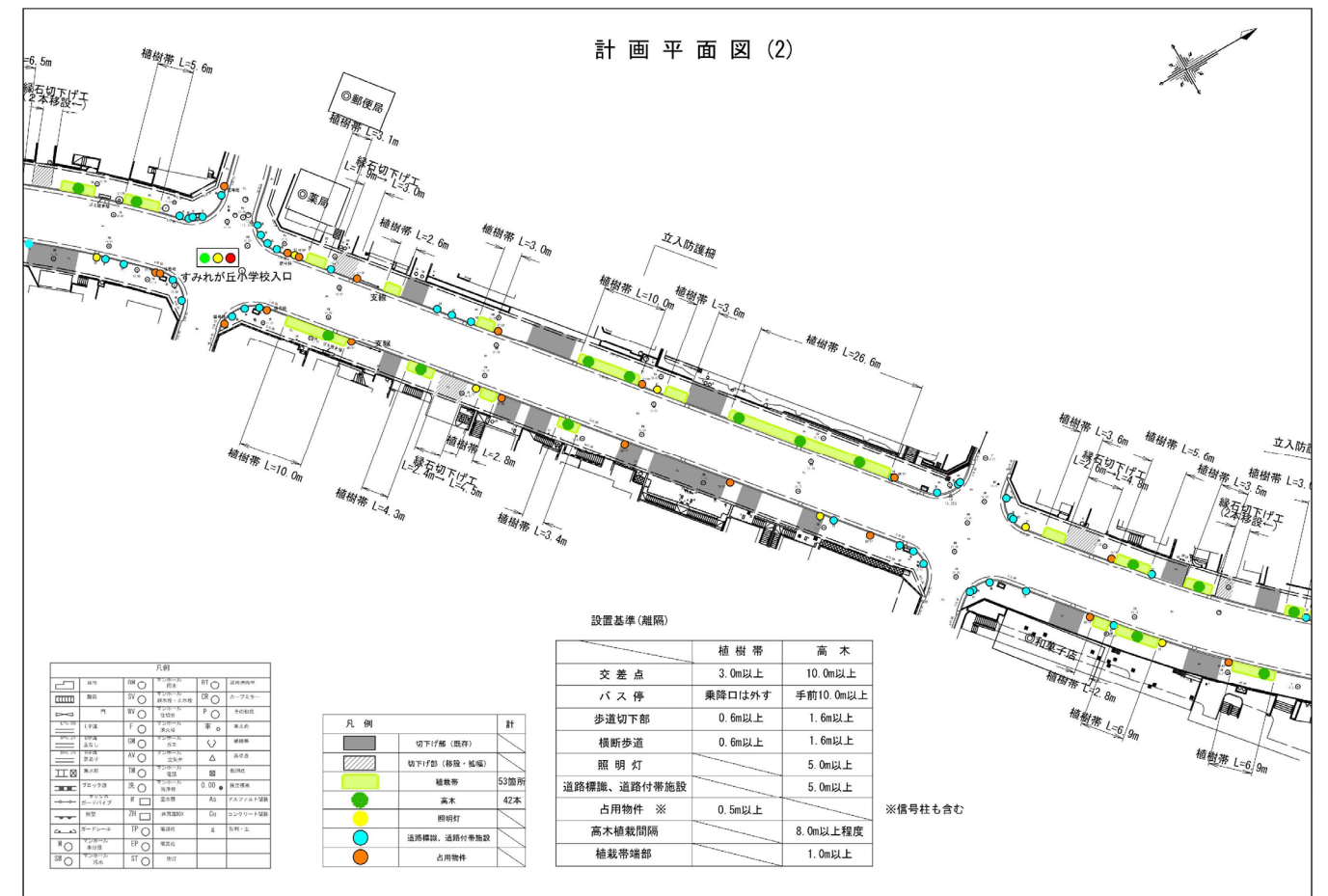
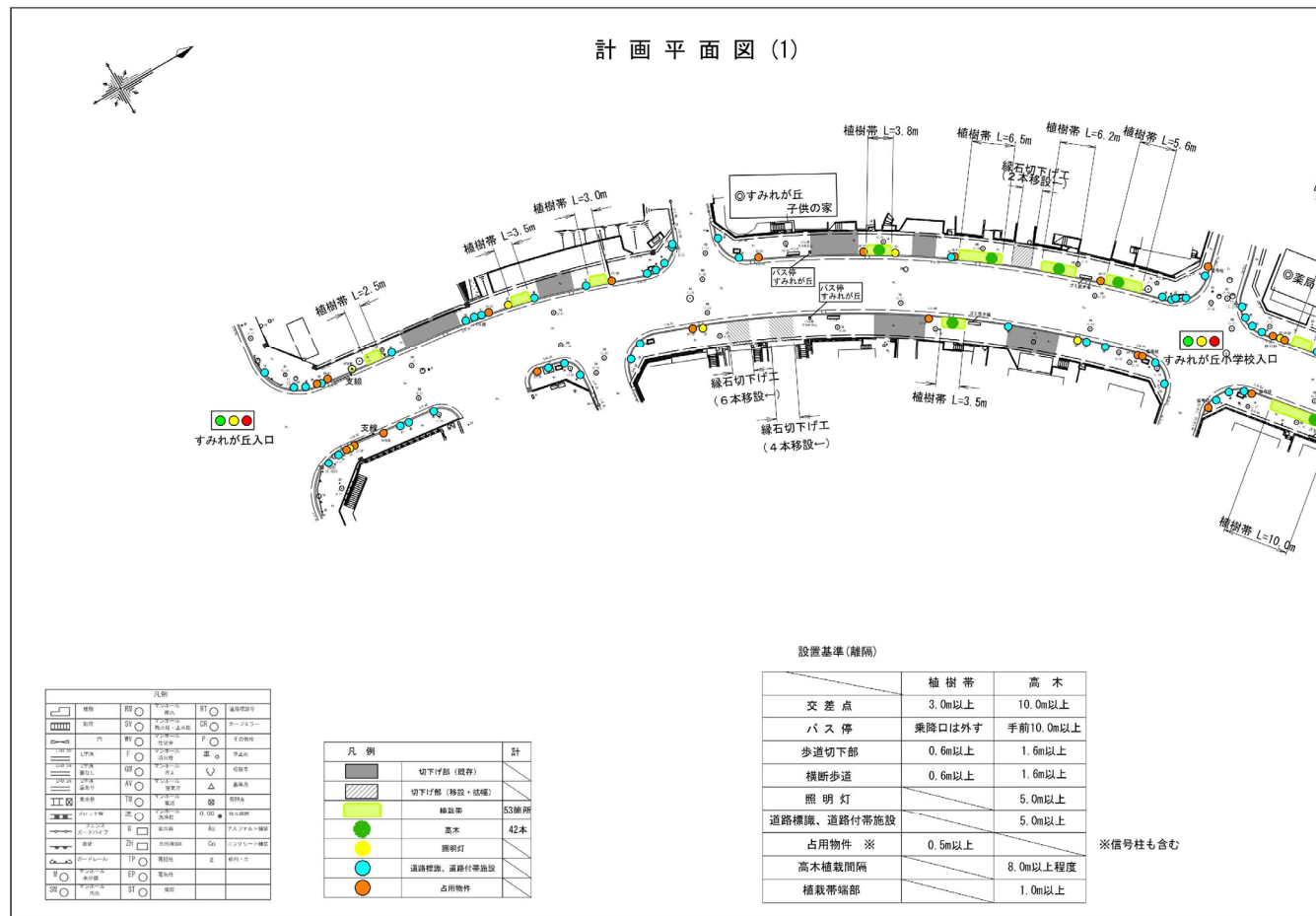
■日時：令和4年11月13日（日）

10時～11時半頃

■場所：すみれが丘会館

■内容：街路樹再整備計画について





※計画平面図の拡大図 (A3用紙) については、説明会にご参加いただいた方にお配りいたします。また、都筑土木事務所のHPに掲載いたしますのでご確認ください。